



キタセツは、いつもみんなのそばにいます

# しあわせ色

The colour of happiness 2017/ April #109



奥様 今回のリフォームを通して  
気づいた事は、希望の住まいを  
つくることの難しさでした。一  
言で快適という言葉にはアリアリ  
ティーではなく、自分達の快適を  
表現する大変さとなかなかそ  
れを理解してもらえない焦燥感  
がありました。大手を含めて  
三、四社ほど相談しましたが、  
造作家具を要望しているのに既



# あわせ色

the colour of happiness 2017/April #109



キタセツ  
〒143-0022 東京都大田区東馬込2-12-1  
**0120-81-4415**

■営業 / 9:00 ~ 18:00 ■ショールーム / 9:00 ~ 17:00  
■定休日 / 日曜・祝祭日・第2土曜・第4月曜

A blue banner with the word "Congratulation" written on it in white, slanted text.

キタヤツはこの辺の二家族が幸せを感じるリフォームのお手伝いをいたします。

# ぬくもりの想いに 包まれる空間に。

栃木での一戸建ての暮らしから、東京のマンションにお住まいを移された A 様ご家族の希望は、殺風景なマンションでの暮らしの中に家族の温もりを取り戻したいというものでした。そして「ぬくもり」のリフォームが完成しました。

■ 詳しいことはホームページをご覧ください

製品を勧められたり、予算をはるかにオーバーする見積りばかりでガッカリでした。柄木から出てきて、東京のリフォーム会社の情報も持つておりません。そんな時インターネットで近くにキタセツさんがあることを知り、大変失礼なのですがダメ元で一度相談して見ようとしたのです。設計担当で紹介されたのが山口さんでした。これまで相談したリフォーム会社の営業マンがおじさま達ばかりだったので（笑）可愛いお嬢さんという印象の山口さんに新鮮さを感じました。とにかく私の話を良く聞いて頂きました。そしてこちらの希望やイメージを汲み取った素敵なものアイデアをいっぱい見せてもらいました。私たちのこだわりは我が家いろいろな想い出の品を飾れるリビングインテリアの設計でした。父が趣味で描いた水彩画、祖母から伝わるアンティー

クの器、子供達のアルバムやVTRなど家族で紡いできた我が家との物語りを身近に感じられるリビングにしたかったのです。この度のキタセツさんの対応とお仕事には感謝しています。主人と結婚した時に買った思い出深いチエストを中心に私の描いていた希望通りのリビングに仕上りました。そして今回のリフォームを通して素敵なお方々との出会いも嬉しいことでした。



これからは光量ではなくて、空間と時間に表情をつくる「光質の生活」をご提案！



光のリフ オームを考える  
“あかり”



窓から差し込む陽光も「あかり」という考え方  
北欧の旅で私たちが教えられた幸せです。窓を閉め切っている家がないのです。昼間は窓からの陽光が室内のあかりとなり、夜は民家から漏れてくるあかりが道路を照らしています。必要な時に必要な光を分かち合おうとする彼らの暮らし方に「あかり」とは何かを教えられたように思います。



**キタセツは「光のリフォーム」も提案します**

こころの表情が相手を幸せな気分にさせる様に、あかりが放つ表情はその場を幸せな雰囲気にしてくれるに違いありません。キタセツにとってリフォームとは幸せのデザインです。

構造物の設計と同時にあかりのリフォームにも取り組もうと思います。それは光量から「光質宣言」に挑む私たちの新たな決意です。どうぞご期待を！



光には「照明」と「あか  
」のふたつがある

タセツでは私たち人間が  
りだした光を「照明」、お部  
で音楽を聞く、読書をする、  
人静かに和む時、ただ明る  
れば良いではなく、それぞ  
のシーンに合わせた必要  
明るさを「あかり」と位置  
けています。この「あかり」  
大切だと考えます。



**■工事中のご家族の暮らしを守るために**

**忙中** 忙中  
キタセツの仕事に活かします

**■代表／北川 拓**

この度の設計チームの北欧研修はキタセツの仕事に活かします

■仮住まい用意 成するまでここで安心して過ごしたいだけ

リフォームが完結するまでここで安心して過ごしたいだけ





キタセツで、  
新しい出会いを

カルチャー教室

思い出はお洒落で素敵なもので、丁度いい。

# 自分の目で、 幸せを見に。

Happinessの国へ



設計の仕事を通して皆さまの

幸せづくりのお手伝いをする

私たちが、世界で幸福度ラン

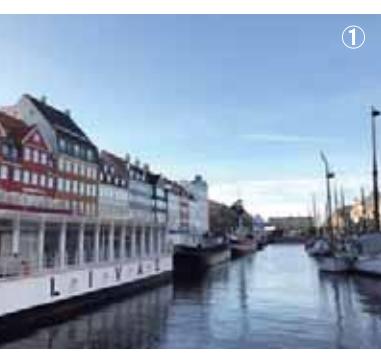
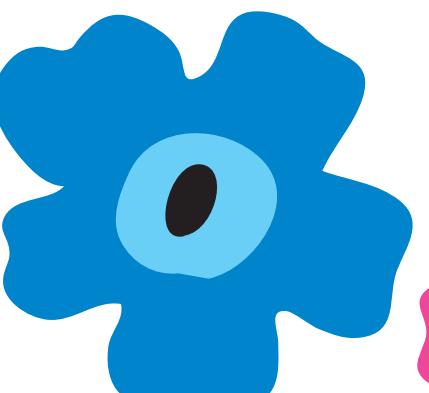
キング上位の国の人々の暮ら

しを感じしにデンマークとス

ウェーテンへ行つてきました。

幸  
せ  
と  
は  
ス  
タ  
イ  
ル  
で  
は  
な  
く  
人々の営みそのもの。

山口菜緒 廣瀬雅子

【写真①】デンマーク、ニューハウン港  
【写真②】ソーデルマルム島から見るガムラスタン島（魔女の宅急便の舞台となった）

北欧の人々の生活や暮らし方を見て、北欧のスタイルやデザインが単なるブームだけではないことがわかりました。そこで感じたことは、家族や職場や社会が繋がり、それぞれ独立した合理的な居住地の良さをかもしだしているところなどです。冬場の日照時間が短い厳しい風土の中でも、それが心地の良さを認め、相手を大切にされるちょうど良い距離感が「幸せ」のものなのです。

世界幸福度ランクイン上位の国の人々の姿にふれた素敵な旅の報告です。



幸せが創られる3つの  
ライフコンセプト。

## Fika 《フィーカ》

クリエイティブなコーヒータイム

コーヒータイムを指す言葉なのですが、他の国で見られるようなコーヒーを楽しむというのではなく、お喋りをしてそこに生まれる想像性や発見に気づきを得る大切な時間なのです。だから家庭でも、職場でも、街中どこでもフィーカは見られ、人々が語り笑いなごむ光景がとても温かいのです。



## Lagon 《ラーコム》

「ちょうど良い」が快適の基準

日本の文化に例えれば「良いあんぱい」のこと。完璧を求めず、背伸びもせず、自分ができることだけをやる。その根底には自分の好きなことにこだわり、相手を気にせず自然に振る舞うこと。それを相手もまた無理なく受け入れる。ラーコムは彼らにとっての良きコミュニケーションの法則なのです。



カフェ



設計の仕事を通して皆さまの  
幸せづくりのお手伝いをする  
私たちが、世界で幸福度ラン  
キング上位の国の人々の暮ら  
しを感じしにデンマークとス  
ウェーテンへ行つてきました。



この体験を Moreform を通し  
てキタセツは提案します。

自由に好きなことを表現する人と、それを受け入れる人が響き合うバランスこそ「快適」のカタチだということを学びました。その快適は美しく、幸せで、希望の見える想像的な空間であることも感じました。Moreform と呼ぶ私たちキタセツの目指すリフォームの姿をこの旅で探し出せたような気がします。



⑩

【写真⑩】ストックホルム市議場  
式の天井バイキングルネサンス様

⑪



⑫



## バランス感覚という合理性

【写真⑦】ホテルのロビー  
【写真⑧】住宅の窓枠とカーテン  
【写真⑨】眼鏡店のディスプレイ

それは照明というより「あかり」表情のある光がどこかしあわせ。  
それぞれの場所（部屋）の間接照明が印象的。日本の様に天井に固定された照明がない。一年を通して自然から浴びる陽光に限界がある人々にとって、室内のあかりは特別なもの。必要な時に必要な光があればいいという考え方方が根づき間接照明になったのではないか…。

街中がアート、歩く人もアート  
石灰岩をくり抜いて造られたストックホルム駅。「世界一長い美術館」と言われるほど各駅にはアートデザインが施されています。この地下鉄アートは1950年代から始められているそうです。そしてアートを描く若者の募集が毎年行われるというのも素敵なものですね。この町を颯爽と走る自転車の若者もなぜかアートに見えてしましました…。



調度品のひとつひとつに家族の思いが込められていました。

あるお宅を訪問した際に、無造作に置かれた置物に目を奪われました。きっと長い時間をかけて選び、ひとつひとつに家族の物語がこもっている品々だと思います。これは「モノ」にもリフォームの設計にも通じる大切な大切なことです。

一日  
日常こそ美しく  
一瞬にも幸せが。

どこを切り取っても絵になる暮らしのシーンは、私たち日本人にとって羨ましい文化です。しかしそこには、厳しい風土に根ざした合理的でバランスを重んじる人々の創造的なルールがありました。

